

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

愛知県

【基本情報】

| | |
|---|----------------------|
| フリガナ | シャカイフクンホウジンヒマワリフクシカイ |
| 法人名 | 社会福祉法人ひまわり福祉会 |
| フリガナ | ヒマリ |
| 事業所名 | ひまわり |
| 提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択） | |
| 生活介護 | |
| 職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休・休職は除く）】 | 13.8人 |
| ICT機器等導入完了日 | 令和6年3月21日 |

※行・列の追加は行わないでください。

（1）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

| 業務内容 | ICT機器等の導入・活用状況 |
|---------------|---|
| 支援記録の作成 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 職員間の情報伝達・情報共有 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 請求業務 | ②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている） |
| 勤怠管理 | ③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている） |
| シフト表作成 | ③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている） |
| 給与業務 | ③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている） |

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）

②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）

③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（2）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

| ICT機器等の種別 | 導入目的 | 製品名 | 台 数 | 備 考 |
|--------------------|---------|-------|-----|-----|
| ⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト | ①作業の迅速化 | ケアカルテ | 1 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム

・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト

・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

①作業の迅速化（支援記録の作成など）

②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）

③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）

④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり業務時間 (D／業務従事者数) | 備考 |
|----------|--------|--------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| ①支援記録の作成 | 14人 | 1,000件 | 12,000件 | 5分 | 1,000時間 | 71時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | 1,000件 | 12,000件 | 5分 | 1,000時間 | 71時間 | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①利用者数(50人)×月平均稼働日数(20日)

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①一人の利用者の一日の記録に係る実時間(業務従事者数の平均)

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり業務時間 (D／業務従事者数) | 備考 |
|----------|--------|--------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| ①支援記録の作成 | 14人 | 1,000件 | 12,000件 | 3分 | 600時間 | 43時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | | 0件 | | 0時間 | | |
| | | 1,000件 | 12,000件 | 3分 | 600時間 | 43時間 | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①利用者数(50人)×月平均稼働日数(20日)

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①一人の利用者の一日の記録に係る実時間(業務従事者数の平均)

年間業務時間削減率 (%)

40.0%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | 0ページ | 0ページ |

④ ICT機器等導入後の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | 0ページ | 0ページ |

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

①事業所におけるICT機器等導入の推進方法

- 1 導入計画の立案・・・どのようなプロセスで導入するのか等
- 2 業務フローの見直し
- 3 導入の実施体制・・・誰がどの業務を担うのか、どこに取り入れるのか等
- 4 職員への説明

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

業務効率化として

- ・利用者に関する記録(基本情報、家族情報、日常記録等)の作成、保管等のクラウドによる一元管理。
- ・アクセスメントやモニタリングの記録をその場(現場)で直接作成、また写真付きで記録をすることも可能になることによって効率化や情報共有の推進。
- ・事業所及び法人内での情報共有。
- ・予定、実績、国保請求、請求書発行、一気通貫で国保連請求を行う。

業務負担軽減として

- ・限られたパソコンや場所でしかできない利用者に関する日常記録等の環境改善
- ・パソコン入力が得意でない職員の記録作業の負担軽減
- ・紙媒体での記録記作業の多さからの負担軽減と業務効率化

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

- ・本事業によりソフトウェアを導入することで、場所を選ばず記録の作成や保管が可能になるため記録に要する時間の短縮ができ、利用者への直接支援の時間として活用できる。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

| | |
|-------------------|---|
| ICT機器等の導入による費用の縮減 | 無 |
|-------------------|---|

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

| | |
|------------------------|--|
| 縮減額（円） | |
| 職員の賃上げ等への充当 | |
| その他職場環境の改善への充当（※1） | |
| サービスの質の向上に係る取組への充当（※2） | |

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。